

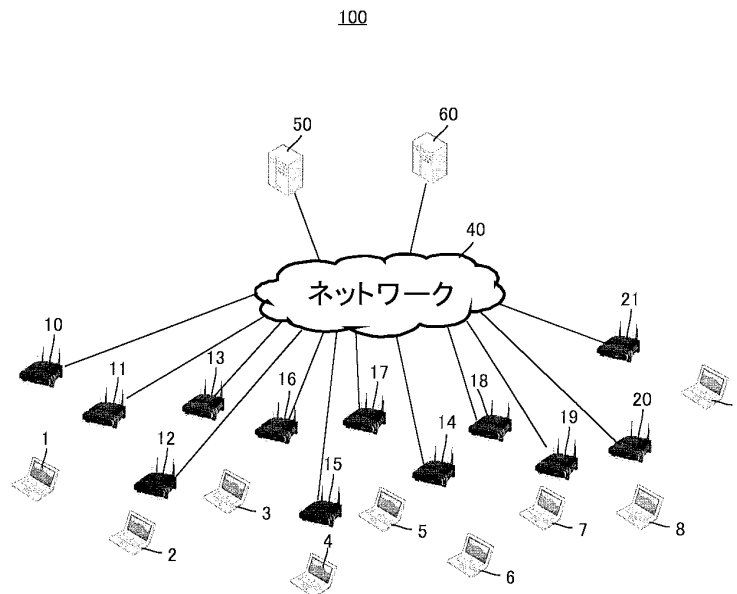
技術の名称

## 無線通信システム

## 適用分野

無線LAN

- 目的 送信電力が制御できる無線装置と送信電力が制御できない無線装置が共存する環境において、送信電力が制御できない無線装置の設定を変えないで性能を劣化させることなく、送信電力が制御できる無線装置での制御によって送信電力が制御できる無線装置のスループットを向上させる。
- 効果 本発明によれば、送信電力が制御できる無線装置と送信電力が制御できない無線装置が共存する環境下において、送信電力を制御してデータパケットを送受信することによって非対称リンクを発生させることなくスループットを向上させることができる。
- 技術概要 ネットワーク40には監視サーバ50と電力制御装置60と多数のアクセスポイント(AP)10~21が連っており、これらのAPには送信電力が制御できるものとできないものが存在し、送信電力が制御できるAP間では、制御できないAPによる通信と干渉を起すことがないように制御できないAPと異なる時間帯で通信を行なう。

■ 特記事項、  
図など■ 主たる提供  
特許

特許等の名称 : 通信システム

登録番号

出願番号 : 特願2011-075090

出願日 : 平成23年3月30日

公開番号 :

## ■ 実施実績

有、 ○無

## ■ 提供形態

○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム  
〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2  
TEL 0774-95-1171, 1195 E-mail ; patent@atr.jp